

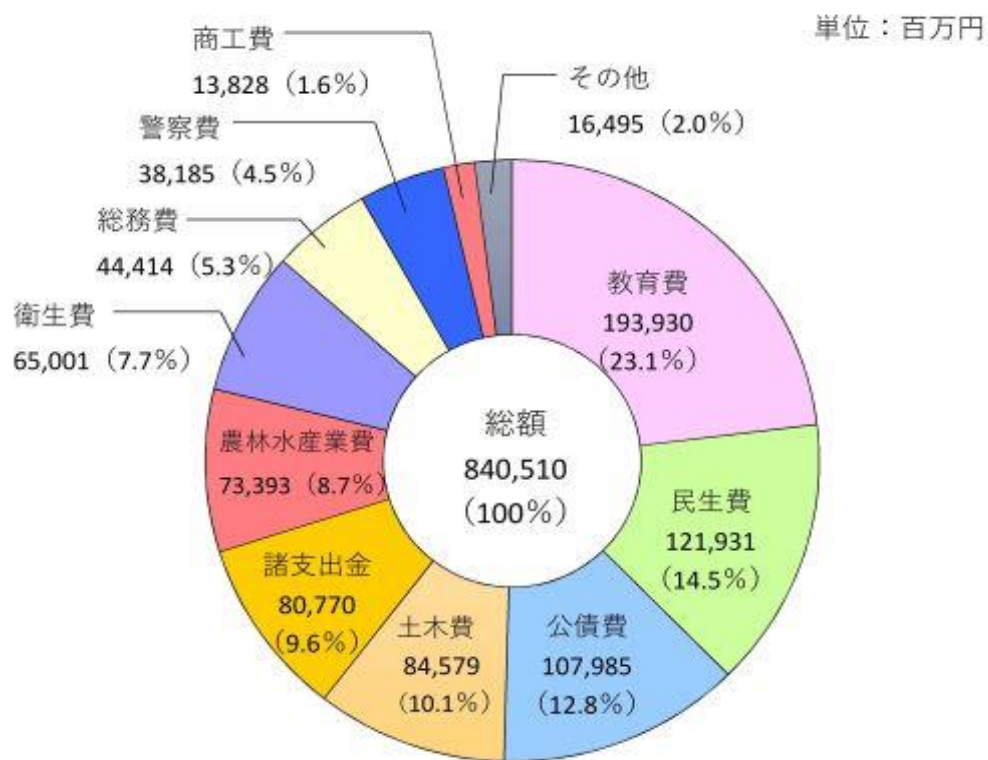
県の財政

県では、行財政改革を着実に進めつつ、直面する燃油・物価高騰の影響を緩和するための対策を講じるとともに、SDGs(持続可能な開発目標)の理念も踏まえ、鹿児島県の基幹産業である農林水産業、観光関連産業や企業の「稼ぐ力」の向上に資する施策、地域産業の振興を支える人材の確保・育成のための施策、移住・交流の促進、結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう社会の実現に向けた施策、デジタルテクノロジーを活用した県民の暮らしの質の向上に資する施策、脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生のための施策などを積極的に推進することとしています。

県の予算はこのように使われています。

令和6年度一般会計歳出予算(当初)

令和6年度一般会計歳出当初予算の規模は、8,405億1000万円となり、前年度当初予算に対し、5.5パーセントの減額となりました。

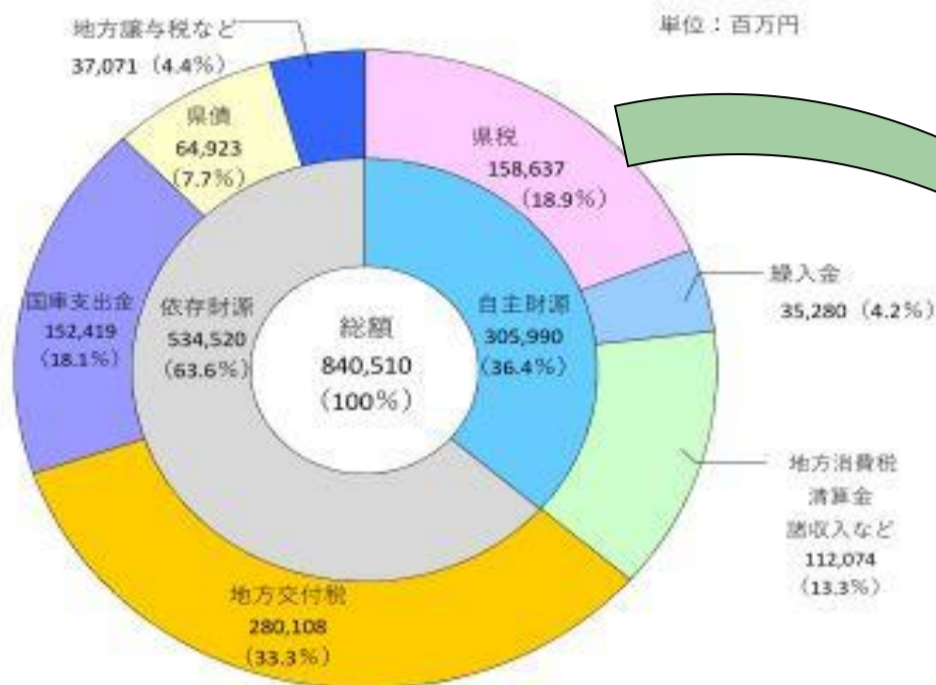


(注) 端数処理のため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

県の予算はこのようにまかなわれています。

令和6年度一般会計歳入予算(当初)

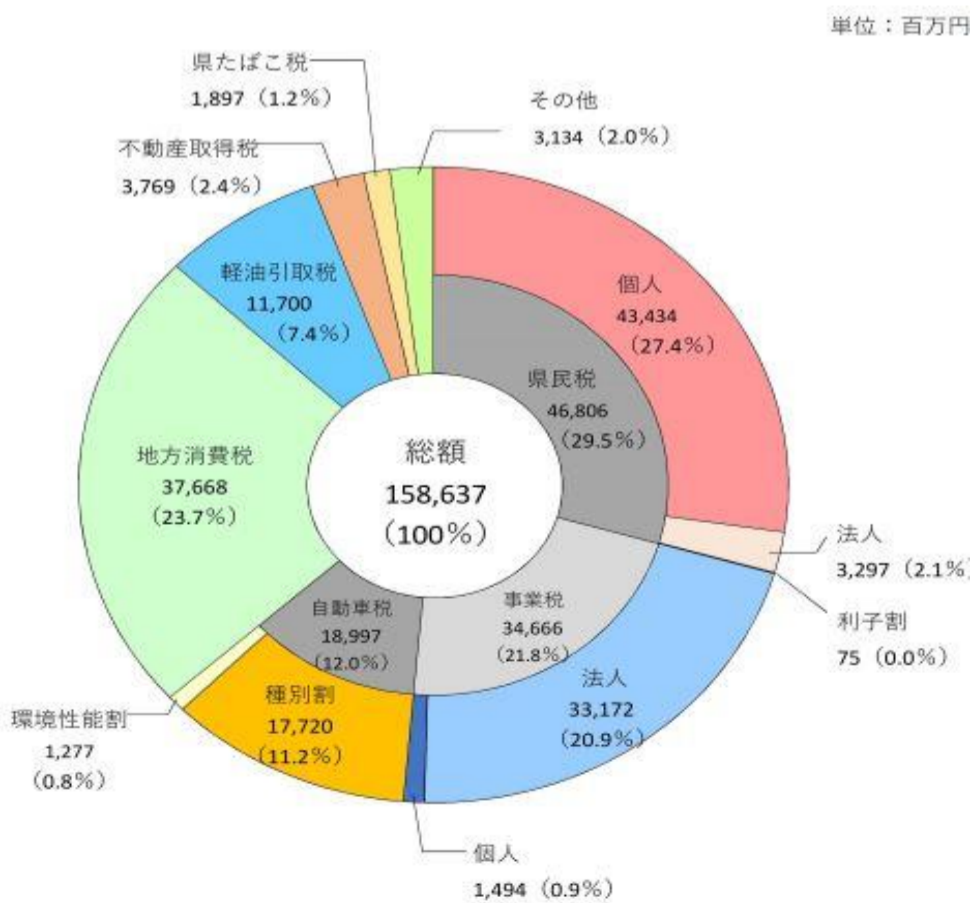
県の仕事にかかる経費は、県税、地方交付税、県債、国庫支出金等でまかなわれています。
 令和6年度の鹿児島県の歳入予算額は、8,405億1000万円で、このうち県民の皆様になめていただく県税は、1,586億3700万円となり、これは歳入全体の18.9%を占める県の重要な財源となっています。



(注) 端数処理のため、「自主財源」「依存財源」の構成比は内訳の計と必ずしも一致しない。

令和6年度県税歳入予算(当初)

みなさまに納めていただく県税の収入予算のうち、全体に占める割合が一番大きい税は、個人県民税(434億3,400万円、県税に占める割合27.4%)で、次いで地方消費税(376億6,800万円、同割合23.7%)、法人事業税(331億7,200万円、同割合20.9%)、自動車税種別割(177億2,000万円、同割合11.2%)となっています。



(注) 端数処理のため、合計と内訳の計は必ずしも一致しない。

豆知識

- 県税…県民の方等が県に納める税金
- 県債…県が銀行等から借りるお金 (次の年度以降に返すもの)
- 地方交付税…国の税金の中から一定の決まりに従って県に入ってくるお金
- 国庫支出金…国が県に交付する、使い道の決められているお金